

奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業評価委員会

(第7回)議事要旨

【開催日時】平成28年7月11日(月)14時00分～14時30分

【場 所】奈良商工会議所4階小ホール

【出席者】

- (1) 委員：阪元勇輝委員長、木村玲欧委員、遊津隆義委員
- (2) 県：エネルギー政策課長、エネルギー政策課職員4名

【議 事】

- (1) 第7次配分案について
- (2) その他

【委員からの主な意見等】

委員/事務局	発言内容
委員	議事(1)について 7次配分後の残額が481万円ということであるが、長柄運動公園に配分するためには、6次までの分で基金に戻る金額があるかもしれないので、その金額を配分するという認識でよろしいか。
事務局	はい。
委員	川西町について、町役場庁舎などの防災拠点施設でソーラー街路灯設置の申請があるが、ソーラー街路灯は避難所のみ対象で、防災拠点施設は配分対象外ということであるが、事前に県には相談があったのか。
事務局	特に相談はなかった。
委員	今回初めて川西町が申請したことはよかったと思う。今回の募集では太陽光発電設備と蓄電池設備を設置せず、ソーラー街路灯のみでも対象となることをアナウンスしたのか。
事務局	はい。

委員/事務局	発 言 内 容
委員	1次から7次を通して、県内の何市町村へ配分することになったのか。
事務局	今回の7次配分を含めて19市町村へ配分。県内市町村のおおよそ半分。
委員	1次配分や2次配分では南部の市町村に配分が集中する問題が生じていた。申請がない市町村はどのようなところか。
事務局	町村からの申請が少ない状況。市で申請がなかったのは大和高田市と香芝市と宇陀市。
委員	ソーラー街路灯を1本で申請している施設はどこに設置するのか。
事務局	複数の場合は施設の入口や避難所に通じる通路に設置されるが、1本の場合は入口近くになると考えられる。
委員	川西町のソーラー街路灯について、中央体育館は4本設置で747万円、ふれあいセンターは3本設置で747万円、街路灯の機種が異なるのか。
事務局	各施設によって想定している明るさ等が異なり、設置予定の機種が異なっている。市町村の意向を踏まえた結果、今回の配分案となった。
委員	また、ソーラー街路灯の本数について、避難所は8本、公園は16本で精査したということであるが、同じ本数でより高い機種を設置することも考えられる。
事務局	市町村が設置を想定している機種については、申請時に想定する機種を使用するとして配分案を作成した。本数を減らすことについては、それぞれの市町村個別に確認をし、それぞれ了解を得た。
委員	今後どのような方針で進めていくのか。

委員/事務局	発 言 内 容
事務局	<p>配分済の箇所については、大半が今年度執行となっている。11億円強が今年度の執行。今は各市町村が入札手続きに入っているところである。ここ1か月くらいで入札が終わるところもあるので、入札差金により基金残が出るのが想定される。これらの基金残について、残さずに使っていくという方向で調整したい。各施設の執行見込を精査し、基金残が出るならば、県や市町村の施設でさらに執行できるものがないか確認等を行い、可能であれば執行したい。本来は取りまとめて委員会に諮る必要があるが、執行の時間を考慮し、事務局で検討をし、その都度事後承認という形で執行したいと考えている。基金を残さない方向で進めていく。</p>
委員	<p>今回のグリーンニューディール基金により設置された設備の広報などはどうしていくのか。</p>
事務局	<p>今のところはまだ考えていない。</p>
委員	<p>このグリーンニューディール基金の存在があまり知られていないと感じる。今後、グリーンニューディール基金で設置された施設を事例発表するなどして広めてほしい。</p>
委員	<p>環境省からの報告義務はあったか。</p>
事務局	<p>報告はした。今回環境省の委託で産業環境管理協会から平成27年度にグリーンニューディール基金事業で完成した施設について、基金の効果を確認するための調査を実施予定。こちらの調査結果も踏まえていきたい。</p>
委員	<p>提案であるが、今回のグリーンニューディール基金で完成した施設を、奈良県次世代エネルギーパークにも入れてほしい。</p>
委員	<p>(第7次配分及び今後の方針について全員了解。)</p>